

プレスリリース

2018年9月11日

各位

株式会社電通国際情報サービス

シビラ株式会社

量子コンピュータ×ブロックチェーンの国際ワークショップを京都・宮津で10月開催

～若年層を対象に、CERNなど世界的な研究者らとの交流機会を提供～

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISID)のオープンイノベーションラボ(以下イノラボ)とシビラ株式会社(本社:大阪市西区、代表取締役:藤井 隆嗣)は、学生を中心とする若年層を対象に、量子コンピュータ^{*1}とブロックチェーンをテーマとした国際ワークショップ「Table Unstable ～ KYOTO SCIENCE OUTREACH ～(以下 TU 京都)」を10月11日(木)に京都・宮津市で開催します。

本ワークショップは、両社が欧州原子核研究機構(所在地:スイス・ジュネーブ、以下 CERN)のアイデアスクエアらと共同で、量子コンピュータ環境下におけるブロックチェーンの利活用等について有識者が領域横断で議論するために本年3月に立ち上げた会議体「Table Unstable(以下 TU)」の一環として開催するものです。

TUではこれまで、スイス・ジュネーブを主な拠点として、在欧量子力学者・量子コンピュータ研究者を中心に議論が重ねられてきましたが、日本初開催となるTU京都では、サイエンス・アウトリーチ^{*2}を主眼におき、科学的視点の面白さや重要性を、若年層に分かりやすく伝えるプログラムを展開します。



4月にジュネーブで開催された
TU 国際ワークショップの様子

当日は、CERN からブロックチェーン分野の研究リーダーである Oday Darwich 氏、オープンラボ所長を務める Alberto Di Meglio 氏、理論物理学の権威である John Ellis 氏が来日するほか、国内量子コンピュータ研究の第一人者である京都大学の藤井啓祐准教授、計算機ホログラムや最適化計算のアプリケーションで知られる筑波大学の落合陽一准教授、量子情報理論の研究で知られる大阪大学の井元信之名誉教授など、世界の第一線で活躍する研究者が登壇し、参加者との交流機会も設けられます。難解な専門用語や数式を極力用いず、気づきにつながるプログラムの提供を通じて、若者が科学者や研究者を志すきっかけとなる場を創出することが、本ワークショップのねらいです。

■TU 京都 開催概要■

名称	Table Unstable ～ KYOTO SCIENCE OUTREACH ～
対象者	日本の中・高・大学生、社会人 / 欧州および日本の研究者・企業
開催日時	2018年10月11日(木) [昼の部]13:00 ～ 17:00 [夜の部]17:30 ～ 20:00
開催場所	みやづ歴史の館(京都府宮津市)

主催	株式会社電通国際情報サービス オープンイノベーションラボ、シビラ株式会社
共催	欧州原子核研究機構(CERN)アイデアスクエア、株式会社角川アスキー総合研究所
協力	宮津市
メディアパートナー	MIT テクノロジーレビュー、ASCII(アスキー)、Peatix 他
登壇予定者	Alberto Di Meglio(CERN オープンラボ所長)、Oday Darwich(CERN)、John Ellis(CERN)、藤井啓祐(京都大学准教授/QRI 理事)、落合陽一(筑波大学准教授・学長補佐/ピクシーダストテクノロジーズ株式会社代表取締役/イノラボ・コラボレーションパートナー)、井元信之(大阪大学名誉教授)、藤井隆嗣(シビラ CEO)、鈴木淳一(イノラボ・プロデューサー) 他
参加費(税込)	法人チケット(昼の部+夜の部 食事付き): 25,000 円 一般チケット(昼の部): 10,000 円 一般チケット(昼の部+夜の部 食事付き): 15,000 円
定員	250 名
詳細・申し込み	プログラム詳細および申し込み方法は、下記イベントサイトをご覧ください。 https://tableunstable-kyoto.peatix.com

<関連プレスリリース>

ISID とシビラ、世界最大規模の素粒子物理学研究所 CERN と共同で、量子コンピュータ環境下でのブロックチェーン利活用を議論する有識者会議体を立ち上げ ～スイス・ジュネーブで4月に国際ワークショップ開催～(2018年3月6日発表)

<https://www.isid.co.jp/news/release/2018/0306.html>

※1 量子コンピュータ: 量子力学の原理を情報処理に応用したコンピュータであり、特定の問題に対して圧倒的な処理性能を誇る。TU の活動では量子ゲート方式の量子コンピュータを想定している。

※2 サイェンス・アウトリーチ: 科学技術や研究活動に対する一般の人々の興味や関心を高め、正しい理解を図るために、研究者が自ら研究内容や成果を人々に分かりやすく伝えたり、対話など双方向のコミュニケーションをとったりする活動を指す。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【TU に関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 2020 テクノロジー&ビジネス開発室 オープンイノベーションラボ 鈴木
TEL: 03-6713-6098 E-Mail: info@innolab.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション室 李、服部
TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@isid.co.jp